

【遠隔医療スケジューリング】 United Health

①要約：

このアイデアは、2009年頃に始まったオンライン診断を進めるために開発されたもので、遠隔の医師と患者の画面を共有することで診断レベルを向上させることを目的としています。医療分野での画面共有の先駆けであり、診察や治療を遠隔で行うことができます。

②目的：

このアイデアの目的は、医師の説明が伝わりにくいという問題を解決し、遠隔診療における診断レベルを向上させることです。遠隔医療において、医師と患者の間で情報共有や診察をスムーズに行い、患者により良い医療を提供することを目指しています。

③新規性：

このアイデアは、2009年頃には既に画面共有やオンライン診断が一般的になっていた現在の時代に先駆けて開発されたものです。医療分野において、遠隔で医師が患者を診察し、診断や治療に必要な情報を共有する手法は、当時革新的であり、画面共有を利用することで医師と患者のコミュニケーションを向上させました。

④独自性：

このアイデアの独自性は、医療分野において早くから遠隔診療に関心を持ち、画面共有を活用することで診断レベルを向上させる新たな手法を開発した点にあります。また、医療機器の遠隔制御やその操作に伴う治療を行う能力も特徴的であり、これによって患者に遠隔での高品質な医療を提供しています。

⑤経済価値：

このアイデアには経済的な価値もあります。遠隔診療は、病院に来院する必要がなく、時間や交通費などのコストを削減することが可能です。また、ユナイテッドヘルスの24時間バーチャル visit サービスは、病気や症状に対していつでもオンライン診断を受けることができるため、利便性が高く、保険に加入している人々にとって便利なサービスとなっています。